費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	8,670,129,242	①当法人は費用進行基準を採用しております。 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：10,811,929,836円 （研究業務費等10,811,929,836円） イ）自己収入に係る収益計上額：2,479,580,322円 （臨床医学事業収益2,326,128,120円、その他の事業収益114,266,920円、その他39,185,282円） ウ）固定資産の取得額：1,142,151,652円 （機械装置177,433,781円、工具器具備品818,131,744円、その他146,586,127円） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 （ア）の費用10,811,929,836円×78.55%＋リース177,824,000円＝8,670,129,242円） ※収支予算における運営費交付金収入と自己収入の割合により、経費相当額を運営費交付金収益に計上することとしている。
	資産見返運営費交付金	1,142,151,652	
	資本剰余金	—	
	計	9,812,280,894	
会計基準第81第3項による振替額		—	
合計		9,812,280,894	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

平成23年度交付分

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	1,312,066,106	○当法人は費用進行基準を採用しております。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、繰越によるものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において、収益化する予定であります。
	計	1,312,066,106	

10　運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

⑴　施設費の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
重粒子線がん治療装置の高度化	921,375,000	—	887,250,000	34,125,000	㈱
超伝導小型炭素線回転ガントリーの整備	470,505,000	457,065,000	13,440,000	—	
那珂湊支所廃止に伴う経費	81,900,000	—	—	81,900,000	㈱
合計	1,473,780,000	457,065,000	900,690,000	116,025,000	

㈱　その他の金額は施設費収益であります。

⑵　補助金等の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	預り補助金等	
原子力災害対策設備整備費等補助金	849,244,555	—	590,340,095	—	244,204,460	14,700,000	㈱
原子力人材育成等推進費補助金	6,328,255	—	—	—	6,328,255	—	